

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	14205
----------	-------

1. 開設大学	広島工業大学 工学部	開講場所 (キャンパス・施設)	本学			
2. 科目名	機械とものづくり					
	学問分野	番 号	31 名 称 工学 (機械)			
3. 担当教員	姜 兆慧 (工学部)、岡部 卓治 (工学部) 澤井 清 (工学部)、長谷川 信也 (工学部)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 27 年 8 月 5 日 (水) ~ 8 月 6 日 (木) (90 分 2 回ずつ) 10 時 45 分 ~ 12 時 15 分, 13 時 15 分 ~ 14 時 45 分					
個別開講日	1 回目 / 5 日	2 回目 / 5 日	3 回目 / 6 日	4 回目 / 6 日	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
	13 回目 /	14 回目 /	15 回目 /	16 回目 /		
5. 募集定員	20 人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>機械技術者が「新製品開発・“ものづくり”」を考えると、常に図 1 に示すような、ユーザへの「新製品」の提供を意識しています。 本講座では、機能性の高い「新製品」ものづくりに向けて、心がけておくべき必要なポイントを、またそれを支える機械工学の学問体系と基礎を、下記の 4 項目に沿って、例を挙げて平易にお話しします。</p>					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ・機能の <u>創造</u> [企画, 構想, 概念設計] ↓ ・機能の <u>最適化</u> [開発, 実態設計] ↓ ・機能の <u>実態化</u> [生産, 加工, 品質管理] ↓ ・企画の <u>提供</u> 「販売, サービス」 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: right;">上流</div> <div style="text-align: center;">↓ (ものづくり)</div> <div style="text-align: left;">下流</div> </div> </div> <p style="text-align: center;">図 1. “ものづくり” の流れシステム</p> <p>I. 機械工学とものづくり II. 機械設計とものづくり III. 材料開発とものづくり IV. 計測とものづくり</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 (7月17日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月18日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 筆記用具を持参してください。					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※1 申込時点で原則、受講できません。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。